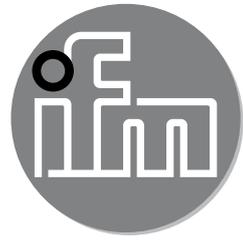


ifm electronic



取扱説明書
溶接アダプターG $\frac{1}{2}$ ネジ用
ハイジェニック接続

JP

efector160[®]

E30055

E30056

E43300

E43301

E43309

E43310

E43315

E43319

11 / 2013

706217 / 02

エフェクター株式会社

本社〔〒261-7118〕千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1

WBG マリブウエスト 18F

サービスセンター ☎ **0120-78-2070**

E-Mail : info.jp@ifm.com

website : www.ifm.com/jp

営業所 東京・名古屋・大阪・広島・九州

1 基本注意事項



EHEDGおよび3Aに従ったハイジエニックエリアで使用する場合：
EHEDGおよび3A規格に従ってください。

PEEKシーリングコーンのセンサーを使用する場合は、3Aの条件のみ適用されます。



- 溶接作業は、溶接免許を持った人が行ってください。
- 慎重に高い技術水準で行ってください。
- 溶接作業時と溶接後アダプターが冷えるまで、センサーを配置しないでください。
- 表面を汚さないでください。
- 溶接材料は、アダプターとアダプターを溶接する材質に適したものを使用してください。

2 機能と特徴

溶接アダプターを使用することにより、ハイジエニックG1/2ネジ用センサーをタンク、または配管システムへ衛生的に取付けることが可能になります。



狭い場所に取り付ける場合：

誤動作およびセンサーへの損傷を避けるために、取扱説明書に記載された最小距離を守ってください。

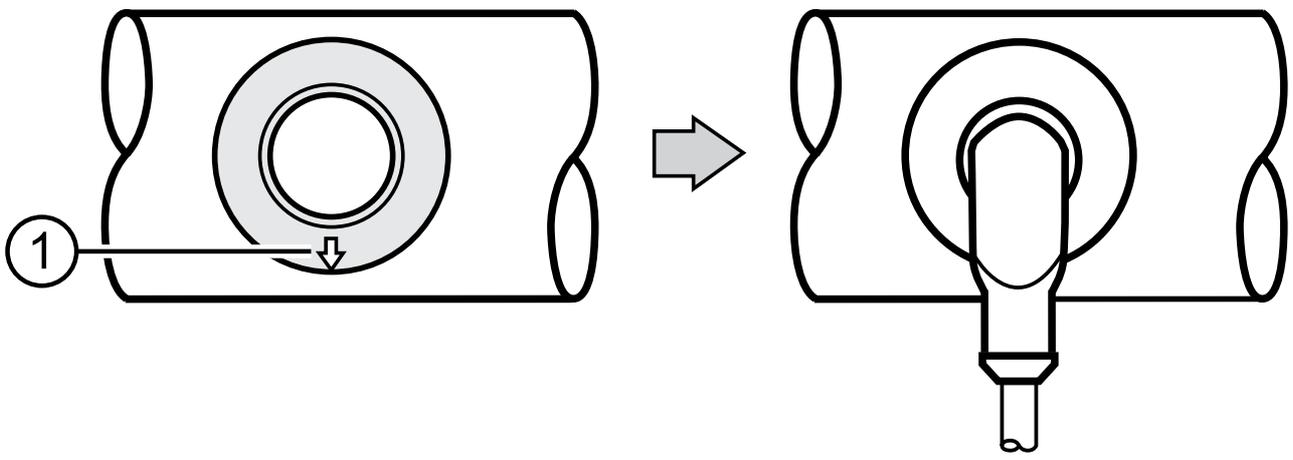
3 準備

- ▶ 配管または取付け外装壁にアダプターの外径の穴を開けてください。
(最大誤差：0.2 mm)
- ▶ 可能な場合、アダプター；コード番号 E43314に溶接用マンドレルをねじ込んでください。(最適な熱放散およびシーリングエッジの保護のために)

4 溶接作業



- 溶接機器の電力は、溶接箇所のに厚みに適合させてください。
- アダプターを変形させないでください。
- 溶接スパッタなどで、アダプターのシーリングエッジを損傷させないようにしてください。

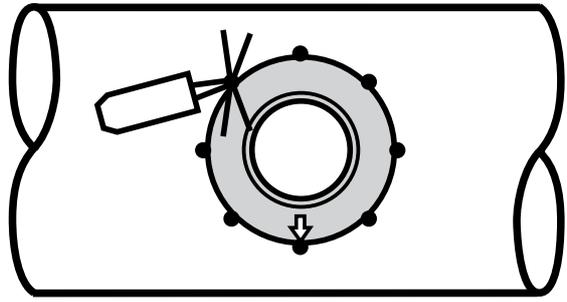


規定のねじ切り位置のアダプター:

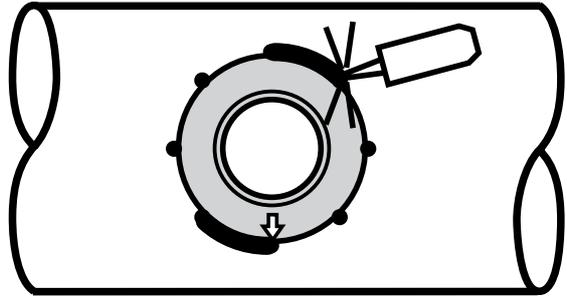
▶ センサーのケーブル差し込み口の位置まで、マーク①を回転させてください。

3Aに従ったリーク孔付きアダプター:

▶ 確実な排出のために、リーク孔が最低許容点に位置するように、1つのリーク孔のみでアダプターを合わせてください。



▶ 十分な付着力でアダプターを点で数箇所固定してください。
お互い反対側に、等間隔に溶接して固定してください。



▶ 等間隔で固定した点を縫うように溶接してください。
溶接する箇所は十分に間隔を空けてください。
熱によってアダプターが変形しないように、アダプターを冷やす必要があります。

5 溶接後

- ▶ アダプターを冷やしてください。
- ▶ ねじ山およびシーリングエッジの溶接時の残留物を掃除してください。
- ▶ 溶接用マンドレルを使用した場合は、取り外してください。



アダプターのシーリングエッジが損傷した場合は、そのアダプターは使用できません。
(アダプターを取り外し、新しいアダプターで溶接してください。)

6 センサー / クランプフィッティングの取付け

温度センサー TAxxxx クランプフィッティング E3xxxx	レベルセンサー LMxxxx
<p>▶ センサーとアダプター / センサーとクランプフィッティング間の接触部分(金属間)に、グリス(潤滑剤)を薄く塗ってください。</p> <p>グリスはアプリケーションと取付けに使用するパッキン(エラストマー)に適合および認可されたものである必要があります。</p>	<p>▶ センサーのねじ山にグリス(潤滑剤)を薄く塗ってください。</p> <p>グリスはアプリケーションと取付けに使用するパッキン(エラストマー)に適合および認可されたものである必要があります。</p> <p>▶ シールリングをセンサーのねじ山に滑らせてください。</p> <p>アダプターには、EPDM Oリングが付属しています。</p>

その他の方法(温度センサーTAxxxx / クランプフィッティング E3xxxx / レベルセンサー LMxxxxに対応):

- ▶ シール部分に機械的な影響を及ぼさないように、センサーをアダプターに手でしっかりとねじ込んでください。

 センサーがねじ込めない場合は、無理な力でねじ込んだりしないでください。センサーまたはアダプターが損傷する恐れがあります。

- ▶ センサーを不正に大きな力でねじ込んだ場合:
ねじ山を矯正することができません。
アダプターを取り外し、新しい溶接アダプターを溶接してください。

 過度な締付トルクはシールを損傷する恐れがあります。

- ▶ 手でしっかりねじ込んだ後、スパナでセンサーを締込んでください。

 推奨締付けトルク → 取扱説明書 / センサーの取付け